

ご挨拶

第十九世住職 渡邊 隆厚



謹啓 盛夏の候、暑さ厳しいおりご尊家の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、令和5年(2023年)は弘法大師空海(お大師さま)がお生まれになつて1250年の記念の年になります。

お大師さまは、宝龜5年(774年)6月15日、讃岐国(香川県善通寺市)でお生まれになり、幼名を真魚と名付けられました。真魚さまは、土で仏さまを作り、草や木を集めてお堂を作つたりして、仏さまを拝んでいたそうです。それから、15歳で都に上り、18歳のときに大学に入学します。大学では中国の哲学、思想を学びますが、やがて立身出世を目的とした大学の学問に疑問を感じるようになります。

そして在学中に僧侶の道を目指し、22歳で空海と改名しました。24歳のとき、「仏教こそが最高の教えである」という考えをまとめた『三教指帰』を著すと、山野を巡り修行する出家修行者となり、各地で厳しい修行を重ねました。

ある夜、大和國久米寺の東塔の下に仏教の究極の教えである密教を説いたお経『大日經』があることを夢で知り、この地を訪ね『大日經』に巡り合いました。しかし、『大日經』を読んでもその意味は十分にわからず、かといって、その疑問に答えてくれる師は日本にはいませんでした。そこでこの疑問に答えてくれる師を求めて、唐(現在の中国)の都・長安に留学することを決心されます。海上での暴風雨、長い陸路の旅など幾多の困難に遭遇しますが、半年後ようやく長安に到着します。長安では密教の師を求めて諸寺を歴訪し、ついに正当な密教を受け継ぐ唯一の僧侶、青龍寺の惠果阿闍梨に巡り合います。惠果阿闍梨は自らが受け継いだすべての教え、そして密教の奥義を余すところなくお大師さまに伝えました。すべてを伝えた惠果阿闍梨は「一刻も早く日本に帰り、密教を広め人々を幸福にするように」とお大師さまにすすめます。

そこでお大師さまは20年間の留学僧としての勤めを2年足らずで切り上げ日本に帰れます。帰られてからは、惠果阿闍梨の教え通り真言宗を開宗し、弘仁7年(816年)には和歌山県の高野山をお開きになり、高野山や京都の教王護国寺(東寺)を拠点として活躍されます。その活動は、宗教活動はもとより、社会活動や文芸活動、書など多岐にわたり足跡を残されました。

そして、お大師さま62歳、承和2年(835年)3月21日に高野山奥之院にご入定なされます。ご入定なされ、今も人々を見守り、救い続けておられ、お大師さまの教えは、今も私たちを導いてくださります。お生まれになつて1250年の記念のこの年に改めて、ご自宅のお仏壇・掛け軸・不動院や各寺院におられる、お大師さまに手を合わせ、感謝の気持ちをお伝えしていただければと存じます。これからも暑い日が続きますがどうかご自愛のほどお祈り申しあげます。

花まつりの様子 令和5年4月8日(土)

お釈迦様のお誕生日に甘茶をかけてお祝いしました。地元の子供たちによる元気なコーラスや、岡山学芸館高校、清秀中学校高等部の「琉球三味線部」による楽しいコンサートがありました。また、笠岡市吉祥院の雲井泰雅僧正様による「阿字観体験」もあり心を落ち着けて瞑想しました。甘茶やコーヒーやお菓子のお接待もあり春の穏やかなひとときでした。



琉球三味線部の不動院合宿の様子

令和5年4月8日(土)~9日(日)

岡山学芸館高等学校、岡山学芸館清秀中学校・高等部の琉球三味線部が、花まつりでのコンサートの後、不動院で合宿されました。一泊二日の充実した楽しい合宿を過ごしていただきました。

（合宿2日目）



不動院奉讚会巡拝と入会のご案内

令和五年十一月七日(火)に瀬戸内三十三觀音靈場巡拝の3巡目を開始いたします。5回に分けて巡拝します。ぜひこの機会に巡拝にご参加ください。檀家以外の方もご参加いただけます。

不動院奉讚会 入会のお願い

日常生活から離れて、ゆったりと流れる時の中を歩きませんか。人や場所との「出会い」を楽しみませんか。瀬戸内三十三觀音靈場を含めお参りしまして皆様と親交を深めて頂きたいと思いますので是非とも不動院奉讚会に入会くださいますよう。よろしくお願い申し上げます。不動院奉讚会会长 安倍郁雄
(入会金なし、年会費千円、総代世話人、又は不動院にお申込みください)

不動院奉讚会 常任役員 (11名)

会長 安倍郁雄

幹事 江原公平

監査 田辺敏広、平野正弘、木下俊市、岡本浩、横山耐継

顧問 渡辺隆厚 (順不同・敬称略)

●奉讚会役員・総代世話人全員

永代供養をご希望の方は
不動院までご相談ください

お位牌は本堂位牌堂へ、
お骨は納骨堂へお祀りします。



不動院納骨堂

R5.4月1日 奉讚会常任役員と
高梁市頼久寺の大法要にて



不動院コーラス募集

毎月第3土曜 14時~15時半

楽しく歌いましょう♪

年長、小・中学生対象